

レジ袋を削減して地球に優しい生活を

# 11月10日は ノーレジ袋デー！



このマークのあるお店では

- ①お買い物の際にはマイバッグを持参してレジ袋を断りましょう。
- ②マイバッグはレジでのお支払いが済んでから使いましょう。

鳥取県では環境にやさしいライフスタイルへの第一歩として、ホームセンター・スーパーマーケットなどの事業者、消費者、行政が協力し、平成20年11月10日(月)を「ノーレジ袋デー」として、レジ袋をもらわない全県下統一の取り組みを行います。具体的な行動に移すきっかけとして、「ノーレジ袋デー」に取り組みしましょう。

※ノーレジ袋デー当日は、推進協力店では原則としてレジ袋はお渡しいたしません。ご協力をお願いします。

鳥取県内のレジ袋年間消費枚数を約1.4億枚とすると、レジ袋をまったく使用しなかった場合、5,200トンの二酸化炭素排出量が削減できます。これは、約980世帯分の1年間の二酸化炭素排出量に相当します。



レジ袋を削減すると  
どんな効果があるの？

鳥取県マスコットキャラクター  
トリピー

問い合わせ先： 住民生活課 ☎ 0859 - 54 - 5210

## 平成19年度決算に基づく大山町の健全化判断比率及び資金不足比率

すべての指標が健全化段階に また 資金不足比率もなし

平成19年6月に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が公布され、「健全化判断比率」および「資金不足比率」を監査委員の審査に付した上で議会に報告し、住民に対し公表することが義務付けられました。地方公共団体は、この健全化比率などにより、**健全化段階** **早期健全化段階** **財政再生段階** の3段階に区分されます。なお、平成19年度決算に基づく大山町の健全化判断比率を算定した結果、すべての指標が **健全化段階** となりました。

また、すべての公営企業会計(※)の資金不足比率はありませんでした。

※ 公営企業会計とは、上水道事業会計、索道事業会計、地域休養施設特別会計、簡易水道事業会計、農業集落排水事業特別会計、公共下水道事業特別会計、風力発電事業特別会計、温泉事業特別会計、宅地造成事業会計です

### 大山町の健全化判断比率

(単位：%)

実質赤字比率 (財政規模に対する一般会計などの赤字の割合)	連結実質赤字比率 (財政規模に対する全会計の赤字の割合)	実質公債費比率 (財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額などの割合)	将来負担比率 (財政規模に対する将来町が支払う借入金返済額などの割合)
— (14.14)	— (19.14)	16.1 (25.0)	130.1 (350.0)

※ 実質赤字額または連結実質赤字額がない場合および実質公債費比率または将来負担比率が算定されない場合は、「—」で表示。また、カッコ内の数値は早期健全化の基準です。